

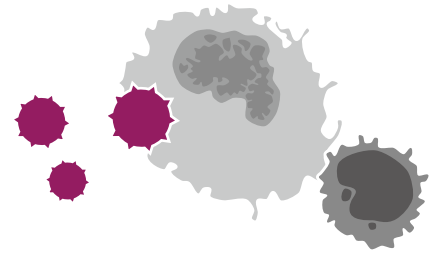
Primary Focus候補: 免疫ホメオスタシス

免疫関連疾患の患者さんのために
治癒につながる治療法を開発する

Our Mission

全身の免疫システムに影響を与えることなく自己反応性免疫細胞のみを制御することにより、安全で治癒につながる免疫疾患の治療法を提供する。

自己免疫疾患によって免疫システムが制御不能になった患者さんの、免疫システムのバランスを回復する、革新的な治療法を開発を目指す。



Background

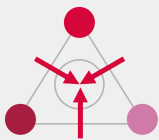
自己免疫疾患に対する治療法として、現在は主に免疫抑制剤が使用されているが、これは自己反応性免疫細胞のみを標的としたものではない。

免疫抑制剤による免疫系全体の抑制は身体を衰弱させ、時には生命を脅かす有害事象を引き起こしたり、感染症にもかかりやすくなる。

疾患に関連する免疫反応のみを抑制することにより、安全で特異的な新しい治療法を生み出すことができる。

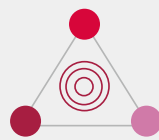
戦略的アプローチ

免疫領域における研究開発の経験および細胞医療のケイパビリティを活用し、免疫ホメオスタシスを回復できる競合優位で革新的なモデルティを確立する。



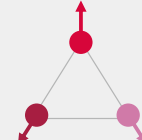
FOCUS
集中

炎症部位に集まり自己反応性炎症カスケードを停止させる可能性がある、ヒト血管芽細胞由来の間葉系幹細胞を開発する



ENRICH
強化

AIRMおよびUniversal Cells社の再生医療や遺伝子編集の専門性を活用し新規の免疫調節細胞医療を開発する



EXPAND
拡大

外部のサイエンスコミュニティと継続的に連携し、提携、共同研究および買収によってパイプラインを拡充する（例：Pandion社との提携）

汎用性の高いプラットフォーム技術



免疫調節活性を増強し疾患特異性を高める遺伝子編集技術



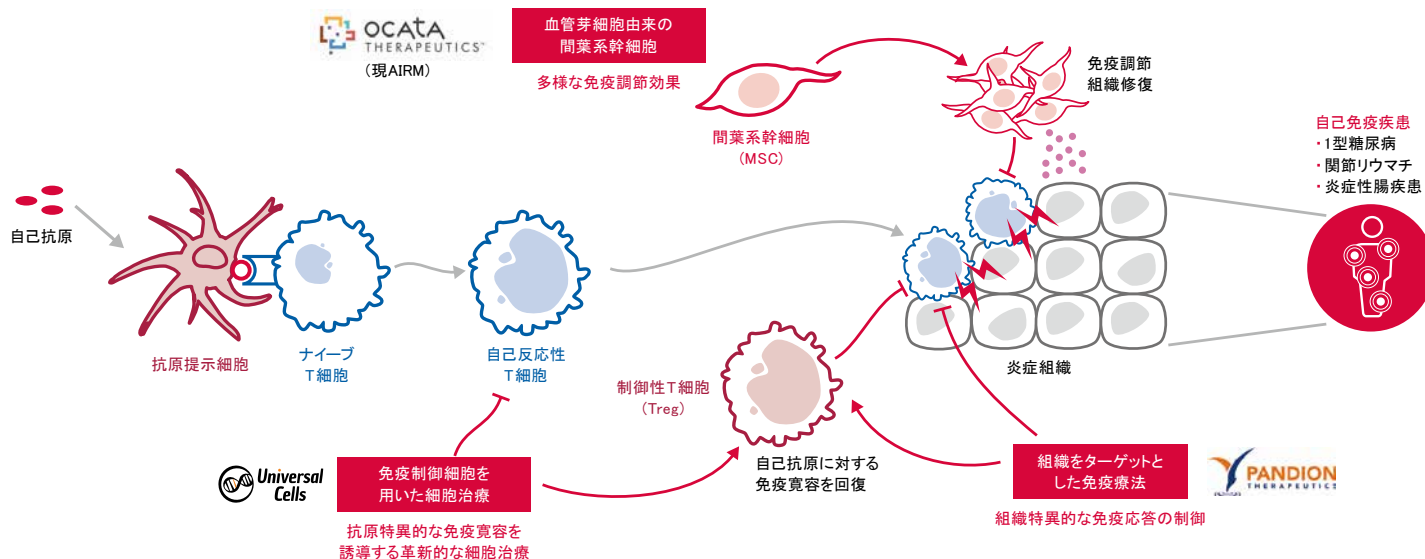
自己免疫疾患のための多能性幹細胞由来の免疫調節細胞医療



免疫調節細胞を体内で誘導する革新的な技術（例：標的免疫療法による組織特異的免疫制御）

パイプラインと作用機序

疾患特異的免疫応答を抑制し、免疫寛容を誘導できる革新的な技術とモダリティを探索する



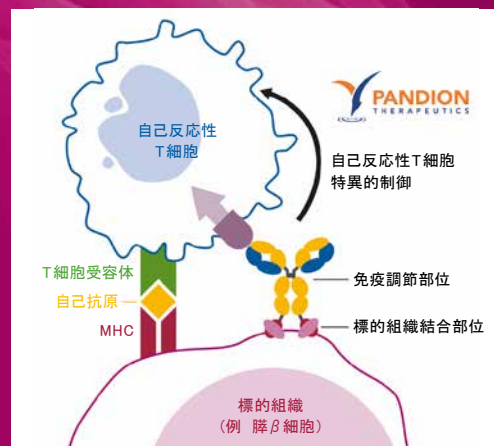
PANDION THERAPEUTICS, INC.

アステラスは、1型糖尿病などの自己免疫疾患に対する新しい免疫調節薬の創出を目指して、Pandion社と提携しています。

Pandion社のTALONプラットフォーム^{*}は、免疫調節部位と標的組織結合部位から成るユニークなモジュール型バイオ医薬品プラットフォームです。免疫調節薬を効果的に標的臓器に送達することで、異常な免疫反応が起こっている臓器に直接作用し、病変部位の免疫反応を選択的に抑制します。

このプラットフォームは、次世代のモダリティとして期待しており、この技術を他の組織に広げることで、さまざまな自己免疫疾患の新たな治療法を創出できる可能性があります。

^{*}Therapeutic Autoimmune reguLatory protein (TALON) drug design platform



開発パイプライン[†]

戦略的な共同研究や買収を通じて、強固で競争力のあるパイプラインを構築

化合物名	モダリティ	作用機序	適応症	現在のステージ	オリジネーター
(非開示)	血管芽細胞由来の間葉系幹細胞	免疫調節	(非開示)	前臨床 (2023年度P1開始予定)	OCATA THERAPEUTICS [*]
(非開示)	免疫調節細胞	免疫調節	(非開示)	研究	Universal Cells [*]
(非開示)	抗体	標的免疫療法	1型糖尿病	研究	PANDION THERAPEUTICS ^{**}

P1: フェーズ1

[†]2022年8月現在, ^{*}買収 (自社プログラムに分類), ^{**}共同研究により創出



この資料に記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述及びその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見やりや想定によるものであり、既知及び未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。様々な要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化及び関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品及び既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、この資料に含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。